

## 平成25年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償資金協力

### 「エスオーエス・フランシスタウン子ども村フェンス整備計画」引渡式の実施

在ボツワナ日本国大使館

平成27年8月6日

平成27年3月10日、平成25年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「エスオーエス・フランシスタウン子ども村フェンス整備計画」の引渡式が、被供与団体であるセーブアワーズ・チルドレンズビレッジ協会の関係者等の出席を得て、同地にて行われました。

本案件は、首都ハポロネから北東に約450km離れたボツワナ共和国第2の都市フランシに位置するエスオーエス子ども村（孤児や困難な状況にある子ども達が暮らす施設）に、約12ヘクタールの敷地を取り囲むフェンスの整備を無償で援助したもの（供与額86,054米ドル）です。本案件の実施により、これまで部外者による不法投棄、侵入、盗難等に悩まされていた、子ども達約170名の安全が確保されることとなりました。

同子ども村で開催された引渡式にて、尾西雅博大使はスピーチを行い、「ボツワナの未来を担う子ども達の安全は、どのような状況においても守られなければならない、今回のフェンスの完成により、子ども達の安全が守られることを光栄に思う。」と述べました。これに対して、被供与団体の代表をはじめ、地区評議会事務局次長や族長らから感謝の意が述べられたほか、引渡式の様子は当国国営テレビのニュースにも取り上げられました。



(写真) 引渡式終了後、完成したフェンスを視察する尾西大使